

## ガバナンス検討会 実施概要 (第 12 回)

当社は、包括的なガバナンスの点検と強化を目的としたガバナンス検討会を定期的に開催しています。2024 年 10 月に開催した第 12 回のガバナンス検討会について、その概要を以下の通り開示します。

### 第 12 回ガバナンス検討会

#### 1. 検討会の開催概要

開催日 : 2024 年 10 月 3 日

出席者 : 大山代表取締役、川口取締役  
谷取締役、石村取締役、石黒取締役、武田取締役  
佐藤監査役、西宮監査役、太田監査役、鈴木監査役、大塚監査役  
鈴木コーポレート執行役員 (ESG・リスクマネジメント担当)

テーマ : 情報セキュリティ活動状況について

テーマ設定の背景 :

取締役会および監査役会は、マルチステークホルダーの観点から、リスクマネジメントシステムの整備・運用状況の監督・監査に努めており、今般その一環として、情報セキュリティに関するリスクマネジメントの状況について、点検と検討を行うこととしました。

#### 2. 概要

執行の担当部門より、当社グループの情報セキュリティ（全社セキュリティ体制の構築、NIST 対応※、コーポレート・プロダクト・ファクトリーの分野別における情報セキュリティ強化への取り組み、データプライバシーポリシーの強化と推進など）についての報告が行われました。

以上の報告を踏まえ、次のような議論が行われました。

※ NIST : 米国標準技術研究所 (National Institute of Standards and Technology)

NIST が発行するガイドラインの 1 つである「NIST SP800-171」の準拠対応を、当社の重点経営戦略リスク「情報セキュリティ対応強化」の中で掲げている。

##### 1) 情報セキュリティ体制について

- 当社グループの情報セキュリティ体制について、経営陣の主導によるセキュリティ確保への対応に加え、買収した子会社を含めたグローバルでの情報セキュリティレベルに対する目標を共有し、共通認識を持つことの重要性についての議論がありました。
- 体制や規定などの整備が行われてきたことを確認するとともに、その運用段階における活動が適正になされているかをモニタリングする重要性について議論がありました。執行の担当部門からは、外部から監査・評価を受けていることに加え、NIST 準拠とあわせて、セキュリティ統括部門と現場の執行部門が一体となってプロセスをレビューしているとの説明がありました。
- 情報セキュリティにおいては社員全体の教育が重要であり、教育内容を改善していくことの必要性について議論がありました。

2) 情報セキュリティの機密性・完全性・可用性の確保について

- 重要情報の機密性・完全性の確保と業務の継続性・効率性を踏まえた可用性の確保の重要性に関する議論がありました。
- 昨今の経済安全保障の観点を踏まえた、機微情報の取り扱いに関する全体設計の必要性のほか、それに関連して、セキュリティクリアランス制度に対する当社の対応についての議論がありました。

3) 情報セキュリティへの投資について

- デジタルサービスの会社へ移行していく中で、当社グループにとって情報セキュリティに対する合理的な投資水準の探求や、タイミング・優先順位を含めた投資の必要性に関する議論がありました。

以上

## ガバナンス検討会 実施概要 (第13回)

当社は、包括的なガバナンスの点検と強化を目的としたガバナンス検討会を定期的を開催しています。2025年3月に開催した第13回のガバナンス検討会について、その概要を以下の通り開示します。

### 第13回ガバナンス検討会

#### 1. 検討会の開催概要

開催日 : 2025年3月17日

出席者 : 山下代表取締役、大山代表取締役、川口取締役  
横尾取締役、谷取締役、石村取締役、石黒取締役、武田取締役  
佐藤監査役、西宮監査役、太田監査役、鈴木監査役、大塚監査役  
鈴木コーポレート執行役員（ESG・リスクマネジメント担当）

テーマ : 2025年度 重点経営リスクについて

テーマ設定の背景 :

取締役会および監査役会は、リスクマネジメントシステムの整備・運用状況の監督・監査に努めており、今般その一環として、執行側にて経営に大きな影響を及ぼすリスクを網羅的に識別した上で決定した、2025年度の重点経営リスクについて、点検と検討を行うこととしました。

#### 2. 概要

執行の担当部門より、重点経営リスクの決定プロセスを含めたリスクマネジメント体制の他、リスク評価、リスクマネジメントレベルについての説明の後、2025年度重点経営リスクについての報告が行われました。

また、ESGに関する開示動向の報告もあわせて行われました。

以上の報告を踏まえ、次のような議論が行われました。

##### 1) 重点経営リスクのマネジメント体制について

- 地政学リスクやインシデントなどは想定外の事象も発生しうることから、優先順位を付けたリスク対策が重要であり、当社グループ内で収集・把握した情報や他社での実例を複合的に捉えて分析し、リスク対策を重点化することの重要性について議論がありました。
- 執行部門からは、不確実性が高まる中で、重要度や影響度およびリスクマネジメントレベルを見直す頻度を増やすことを検討しているとの説明がありました。それらの開示にあたっては、事業・業績の状況等との整合性に留意することの重要性について議論がありました。
- グローバルでのリスク情報収集の更なる強化を図ることの重要性について議論がありました。

##### 2) 個別リスクへの対応について

- 人材育成や社員エンゲージメントの向上に加えて、デジタルサービスの会社に向けた必要な人

材の獲得など、経営における人材戦略の重要性について議論がありました。

- AIをはじめ、デジタル技術の活用や推進が企業価値向上に与える影響についての議論がありました。
- ESGに関連する国際的な枠組みの情勢など、ESG/SDGsへの対応の方向性に関するグローバルでの動向に注視していくことの必要性などについての議論がありました。
- 金利上昇や為替の変動など、金融市場における大きな動きに伴い、従来よりもリスクが高まっているとの意見がありました。

以上